

見えないシロアリ被害にご注意を

5月になり新社会人のみなさんも少しずつ会社の雰囲気慣れてきた時期なのではないでしょうか。暖かくなると虫も活発に動き出します。

中でもシロアリは種によりますが、4～7月に有翅虫が群飛します。そのため、春に被害が多いと感じる虫ですが、兵蟻や職蟻は冬の寒い時期以外は年中活動し、木材を食害し続けています。また、シロアリは一般家屋や屋外での発生のイメージが強いと思いますが、そんなことはありません。シロアリは工場で発生することもあります。

シロアリはとても数が多いため、有翅虫が屋内側に出てきてしまうと異物混入の原因にもなります。

工場内での主な発生原因は、埋設ケーブルや、床材の基礎に使用されている木材です。これらは年中一定の温度が保たれているため、シロアリにとってはとても好都合な場所です。特に埋設ケーブルが被害にあってしまうと断線事故が起き、その原因を探すのも困難なことが多いです(図1.2.3)。



図1：シロアリの被害にあったケーブル

図2：見た目には問題のなさそうな埋設ケーブルの発泡ウレタン



図3：中はシロアリの巣になっていた



図4.5：一見何の問題もなさそうな積み重ねた段ボール箱の中はシロアリの巣となっていた

また、倉庫などに長い間積み重ねた段ボールは、数か月の間で写真のように営巣されてしまいます(図4.5)。これを防ぐには、シロアリは振動や光を嫌うため、長期間置いておくものもこまめに動かし、掃除したりするのが良いでしょう。

シロアリによる被害は目に見えないところで広がり、気づいたときには甚大な被害となっていることがあります。このような被害を未然に防ぐための防除システムがあります。シロアリについてご不明なことがありましたら、お気軽に弊社担当者へご相談ください。



図6：コンクリートとコンクリートの間の木材への薬剤投与

今月の

豆知識

屋根より高いこいのぼり

近年、大空を優雅に泳ぐ大きなこいのぼりを目にするのは少なくなってきました。

こいのぼりが揚げられるようになったのは、中国の黄河上流には激流が連なった竜門と呼ばれる難所があり、そこを登り切った魚は竜になれるという登竜門伝説がありました。鯉は生命力が強く、きれいな水でなくとも大きく強く生きることができるため、この登竜門伝説にあやかり、男の子がどんな困難にも打ち勝って強く逞しく育ててほしいという立身出世の象徴として揚げられました。筆者の地元では、高く揚げるほど出世すると言われていました。

基本的にこいのぼりの鯉は真鯉、緋鯉、青い鯉の3匹で構成されています。これは家族を表しており、真鯉は父親、緋鯉は母親、青い鯉は子どもです。一家の大黒柱である父親は黒、豊作の意味や生命を担っていることを表現している赤が母親、そして青は子どもです。元々は黒い鯉一匹で子供を表していましたが、時代とともに増え、今では親子で泳ぐ姿となりました。

最近、屋内用のこいのぼりもたくさんあります。見た目にも映えるこいのぼりを飾ってみてはいかがでしょうか。



東洋産業株式会社

本社 岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL 086-241-8080・FAX 086-241-8094

拠点 大阪・姫路・岡山・倉敷・福山・広島・高松・松山・金沢